

講義科目デザイン人類学における、名古屋市との連携によるフィールドワーク教育

代表者 芸術工学研究科 非常勤講師 板垣順平、准教授 大坪牧人

連絡先 itagaki.jum@gmail.com

連携・協力者 市民経済局名古屋城総合事務所

ポイント

デザインを学ぶ学生が観光客や職員にヒアリングを行います。

1 概要

- ・芸術工学部の講義科目「デザイン人類学」では、デザインを学ぶ学生が机上の理論や情報からデザインに必要なアイデアや思考を導き出すのではなく、自らが現場に赴き、フィールドワーク（観察やヒアリング）によって対象となるモノやヒトの潜在的な欲求や本質的な課題を発見し、その解決方法を探るところまでを視野に入れた実践的な学びを身につけることを目的としています。

2 活動内容

- ・本講義では平成25年度から27年まで、名古屋市の中心部にある大須商店街と連携したフィールドワークを行ってきました。28年度からは、市民経済局名古屋城総合事務所の協力のもと、名古屋城内でのフィールドワークを各年2回行いました。名古屋城は、言わずと知れた名古屋を代表する観光地のひとつであり、年間通じて多くの観光客が訪れています。一方で、ここ数年急激に増加している外国人観光客への対応や見学の動線等の配慮など、まだまだ改善すべき点が多くあるため、それらの問題を発見するために観光客や職員を対象に観察やヒアリングなどを行いました。



学生による観光客へのヒアリング（28年度）



ヒアリングや観察の結果を分析、整理（29年度）

3 成果

- ・フィールドワークで収集した写真やヒアリングなどのデータをワークショップ形式によって分析や整理を行い、名古屋城における問題や事象を整理しました。それらの情報をもとに問題の明確化とその解決方法を一枚の概略図にまとめ、履修者全員の成果物を報告書として作成し、名古屋城総合事務所に提出しました。